



電話で聴く語り



語りの会を聞くこともままならず、聴きたい、語りたいとの思いが溢れているのではないのでしょうか。

電話で、語り手たちの会の理事の語りを聴いてみませんか。受話器を通して耳元で語りかけてもらうおはなしは、語り手の息づかいも感じられ、自分だけに語ってくれているという満足感も味わえます。聴いてみたい語り手と話を選んで申し込んでください(期限なし何回でもOK)

詳細は君川まで 受付13時~18時(不在の時は留守電にメッセージをお願いします)

申し込み、問い合わせ 042-531-1471 君川みち子

井上雅美	「ごんすけ狐とじいさま」 「天までとどいた豆」	『宮城県の民話』より再話 『日本の民話3』より再話
君川みち子	「月見草」 「おばばのお手玉」	『女むかし・君川みち子再話集』 君川みち子作
小阪真理子	「べんじゃあさんと天狗さん」 「いたちの子守唄」	福岡県の伝説より 新潟県の民話より
芝匠子	「二百人のどろぼう」 「歌うたいひょうたん」	語りの文化シリーズ8『頭に柿の木』 芝匠子作
清水三和子	「太陽のおかあさん」 「赤い椿の花」	『太陽の木の枝』より 『昔むがしあったけど ひらた』より
菅野智子	「ギィーギィードア」 「きれい好き」	『語ってあげてよ!子どもたちに』より 『嫁さまの涙池 信濃の民話33語り』より再話
須山優子	「二人の孫」 「うさぎとライオン王」	『日本のおばけ話』より 『3分で語れるお話し地球をぐるっと77編』
瀧川倫子	「小さな手紙」(蟻とリスの物語) 「豆ん蜂長者」	『だれも死なない』より 『いまに語り継ぐ日本の昔話』より再話
野田登志子	「ふぐはうち」 「金の足のひよこ」	『東瀬戸内の昔話』より再話 スペインの昔話より再話
三田村慶春	「お月さまとお日さまの御茶代」 「にんじん ごぼう だいこん」	福岡県遠賀郡の話より 三田村慶春再話絵本より
若林孝子	「こぶじいさま」 「泥棒の手」	『こぶじいさま』より 『夕鶴の里の民話』より